

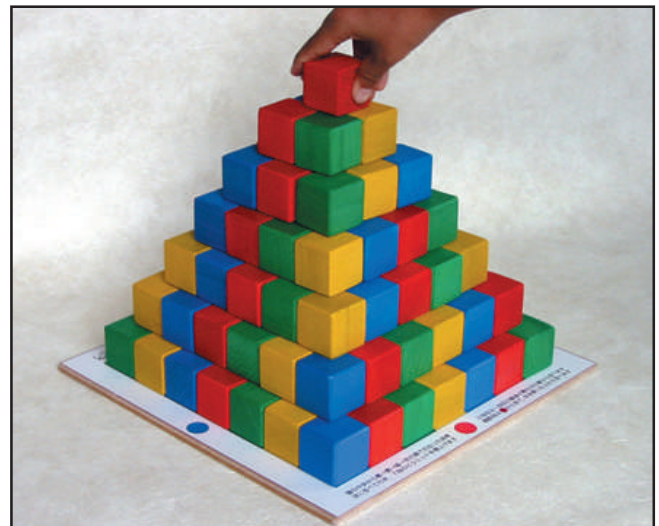
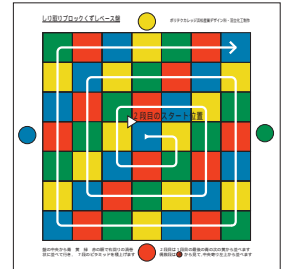
しりとりブロックくずし 遊び方詳細

4人で、各自の持ち色を決め、4色のブロックをピラミッド状に積み上げておき、順番に、しりとりをやりながら、しりとり言葉で言った数だけブロックを取って行き、早く取り去った人から上がりという遊びです。

1. 準備

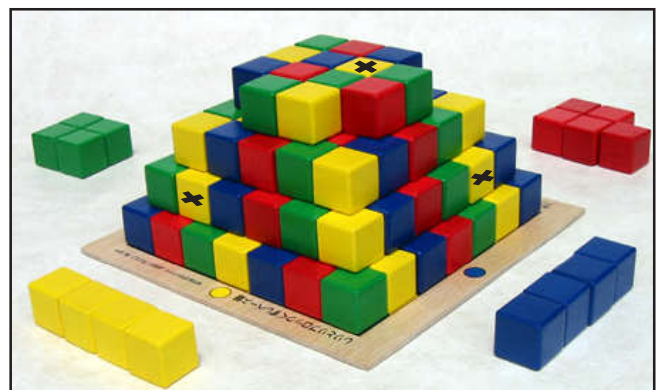
- 1)じゃんけんをして、一番勝った人の前に、積み上げ盤の●を置き、座っている順に時計回りで各自の持ち色を、赤、青、黄、緑というように決め、各自のブロックを全て手元に集めます。
- 2)積み上げ盤の絵柄に従い、各自が自分の色のブロックを1つずつ出して行き、中央より時計回りの渦巻き状に並べて、7段のピラミッドに積み上げていきます。
- 3)2段目以降は、下の段の最後のブロックの次の色から積みます。各段とも●丸から見て、偶数段は中央左上、奇数段は中央から、右へ時計回りの渦巻き状に並べていきます。(付図参照)

積み上げベース盤



2. 遊び方

- 1)赤の人から、順番にしりとり言葉を言いながら、自分の色のブロックを取っていきます。
- 2)取って良いブロックは決まっておき、上に他のブロックが載っていないものと、周囲を囲まれていないものです。
左右を挟まれているものは取れます。
(取れる × 取れない 実施時は付図を参照)
- 3)しりとり言葉は、取れるブロックの数以下で言わなければなりません。(上図の場合、6語以内の言葉を思い出して言います)
- 4)早く自分のブロックを取り去ってしまった人から上がりです。
- 5)しりとりのルールは、はじめに、みんなで決めてやってください。



3. 遊びの効果として、ねらったこと

- 1)自分の持ち色のブロックを担当し、テキパキと積み上げることで、集中力をつけます。
- 2)しりとりブロックくずしは、ゲームをやっていく途上で、このように、
自分の色(色認識)と 順番の前の人が言った言葉の最後の語(言葉の記憶)を憶えていて自分の色の取れるブロックを見通し、その数を数え(空間認識)
そのブロックの数の範囲で、できるだけ長いしりとり言葉を思い出す(言葉の想起)
ということで、左右の脳を使うと共に、これらのことを同時進行的にやることで、いろいろなことに注意を分配しなければならないので、脳活性化ゲームの中では、最も前頭葉を使い、脳刺激・活性化には大変良いと考えています。

[以上]